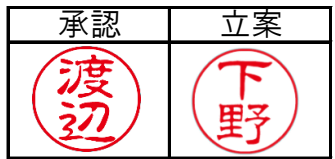


平成27年度 阪神センコー運輸株式会社 安全品質環境衛生管理 活動計画書

作成日 平成27年3月18日
 改定日 平成27年4月22日
 阪神センコー運輸株式会社



平成26年度の概要						
1. 事故・災害の発生状況						
① 車輦事故 月 日 時点						
	ヘッド台数	①年間総走行距離	事故件数	②道路上事故	度数率(②/①×百万)	達成状況
直営	90台	4,530,011	2		0.00	
協力	60台	—			—	—
合計	150台	4,530,011 km	2件	0件	0.00	—
② 労働災害						
	常時労働者数	①総労働時間	災害件数	②休業4日以上	度数率(②/①×百万)	達成状況
直営	124人	392,768	2	2	5.09	
パート					#DIV/0!	
アルバイト	13人	26,485時間			0.00	
派遣					#DIV/0!	
協力					—	
合計	137人	419,253時間	2件	2件	4.77	
③ 品質事故 達成状況						
重大品質事故			0件			
品質事故			95件			
事故費			3067千円			
(内1件当たり50万円事故費 千円)						
立替金発生額			12,973千円			
④ 環境活動 達成状況						
燃 費			5.21km/ℓ			
④ 衛生活動 達成状況						
「健やか活動+10」達成者率			84%			
長時間労働者の産業医面談率			26%			
2. 計画の反省						
(安全)						
入社3年未満ドライバー研修実施にあたり、上期の予定が下期にずれ込み事前調整がうまく行かなかったことから、今年度については実施時期を見据えて早め早めの調整と準備に力を注ぐ。						
(品質)						
品質事故・クレームの吸い上げはほぼ全件上がってきているが、まだまだ月ズレ報告もあり、集約等に多少の誤差が発生。						
(環境)						
燃費向上については、デジタコのリターン設定基準の見直しによる向上を見据えていたが車種ごとに回転域が異なることで、それぞれ検証した結果設定が下期にずれ込み思うような結果が残せなかった。						
(衛生)						
健康診断一次検診については全従業員が期間中での受診できており、二次検診についても結果的には100%受診できているが、受診時期にばらつきがあり産業医・看護師を巻き込んだ中、受診促進を促し早期受診を徹底する。						
3. リスクアセスメントの実施状況						
HHKからの展開でヒヤリの傾向から分析、対策の共有までは定着しつつあるが規定の様式での展開については着手できておらず、統一様式での着手時期を検討し実施。						
4. 安全実力度評価の概要						
平成26年度業務監査実施に付き安全実力度評価未実施						

平成27年度 阪神センコー運輸株式会社 安全品質環境衛生指針及び目標	
【全社安全】	【会社安全】
グループ全体で予防安全活動を積極的に展開し、組織のシナジー効果を活かし、より高い安全水準を達成して社会から高い信頼を得られる組織が創られている。	職場における不安全行動・不安全状態を根絶し、車輦事故・労働災害を予防するため、現場、現物、現実を見据えた中、先取りの安全活動を展開する。
(1) 目 標	(1) 目 標
1) 車輦事故 道路上交通事故度数率 0.275 <small><追突事故「ゼロ」 交差点内での右折対向車との衝突事故削減></small>	1) 車輦事故 道路上交通事故度数率 0.00 <small><追突事故「ゼロ」 交差点内での右折対向車との衝突事故削減></small>
2) 労働災害 休業4日以上労災度数率 0.819 <small><墜落転落災害の削減 リフト後退時の激突事故削減></small>	2) 労働災害 休業4日以上労災度数率 0.00 <small><墜落転落災害の削減 リフト後退時の激突事故削減></small>
3) その他 各種点呼の完全実施、残酒反応ゼロ	3) その他 各種点呼の完全実施、残酒反応ゼロ
(2) 重点施策	(2) 重点施策
1) グループ会社の安全管理体制強化	1) 安全管理体制強化
2) リスクアセスメントと安全実力度評価による安全水準向上	2) リスクアセスメントと安全実力度評価による安全水準向上
3) 健康起因事故の予防	3) 健康起因事故の予防
4) 教育訓練の継続	4) 教育訓練の継続
5) 安全技術の開発	5) 安全技術の活用促進
【全社品質】	【会社品質】
(1) 目 標	『すべてのお客様に満足して頂く』ことがサービスの基本であると再認識し、物流品質を継続的に向上させるため顧客ニーズの実現を目指した活動を確実に、迅速に行う。
1) 重大品質事故件 ゼロ <small>(品質事故についての件数・貨物事故立替金等については各事業所にて目標設定し、取組む)</small>	(1) 目 標
(2) 重点施策	1) 重大品質事故 ゼロ継続
1) 潜在する重大リスクの洗い出し及び本社各部と連携したリスク低減推進	2) 品質事故件数 対前年 10%削減 85件
【全社環境】	(2) 重点施策
～環境先端企業を目指し「資源最少&3R」の推進～	1) 品質事故分析結果から再発防止策実施の推進
(1) 目 標	【会社環境】
1) 電力使用量の削減 H26年度比 ▲3% 各営業所活動結果の集約値	環境への負荷軽減と燃料費削減を考慮し、交通弱者への「思いやり」のある行動と運転操作を心がけ、エコ&セーフティーを推進する。
電力料金の削減 H26年度比 ▲3% としての行政報告となるが、	(1) 目 標
2) 燃費の向上 H26年度比 +3% 企業目標として	1) 燃費の向上 対前年3%向上 5.36km/ℓ
3) 廃棄物排出量の削減 H26年度比 ▲1% 改正省エネ法に準じたCO2削減	2) 地域貢献活動への参加
廃棄物処理料の削減 H26年度比 ▲1% H26年度比▲1%に取組む	(2) 重点施策
4) リサイクル量の向上 H26年度比 +1%	1) 省燃費活動の推進
5) 太陽光発電事業 H27年度予算通知通り	【会社衛生】
(2) 重点施策	健康維持推進活動に管理者自ら模範となり、従業員の健康意識を向上させ、職場が一体となってさらなる健康企業を目指す
1) 改正省エネ法に準じたCO2削減 5) 太陽光発電事業	(1) 目 標
2) 省電力活動の推進 6) その他、荷主との共同、及び 社会貢献活動	1) 有所見率 46%以下 (対前年 1%削減)
3) 省燃費活動の推進	2) 再検査・精密検査、要治療者率 22%以下 (対前年 1%削減)
4) 廃棄物削減、リサイクル率(有価処理)向上	3) 産業医面談率の向上
【全社衛生】	(2) 重点施策
～さらに健康に「健康企業センコー」を目指す～ <small>従業員個人個人によるセルフケアを中心とした健康管理活動が展開され、組織の健康管理システムとの融合により、心身ともに健康で仕事と生活の調和がとれた生き生きとした健康企業になっている。</small>	1) 身体活動活動活性化推進
(1) 目 標	2) 禁煙活動推進支援
1) 有所見率 50%以下 (対前年 2.5%削減)	3) 健康データ整備とその分析による施策立案、従業員健康指導の強化
2) 再検査・精密検査、要治療者率 28%以下 (対前年 2.5%削減)	
3) 喫煙率の低減 40%以下 (対前年 5%削減)	
(2) 重点施策	
1) 各部店・グループ単位での身体活動活動活性化推進	
2) 高年齢社員健康管理施策のスタートとフォロー実施	
3) 個人別把握による禁煙活動推進支援	
4) 法制化に向けたストレスチェック対象拡大対応と医療職によるメンタルヘルス個人ケア実施	
5) 健康データ整備とその分析による施策立案、従業員健康指導の強化	
6) 看護職人員、連携体制整備、及び健保連携体制整備	

